

市民の意見

発行：市民の意見30の会・東京

NO.140

2013/10/1

【毎月1日発行】



発行者の住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-29-12-305 TEL:03-3423-0185 FAX:03-3423-0266

共同代表：高橋武智 本野義雄 吉川勇一 郵便振替：00120-9-359506

eメール：iken30@mwb.biglobe.ne.jp ホームページ：http://www1.jca.apc.org/iken30

* 隔月刊/購読料・送料とも年2500円、一部400円、協会会費年5000円、敬老・障がい者会費年2000円、グリーン会費年1000円

龍朗、俊朗の兄弟は本当に仲が良かった。出征する前に「少女」の絵を二人で合作し、あれやこれや批評しあった。二人そろっての千葉での兵隊養成所暮らしも毎日教練から帰ると絵の勉強に費やした。二人でヒマをぬすんでは絵筆やスケッチ帖を貸し合い、兵舎から見える美しい千葉の海を描いた。俊朗は兄を追うように出征、南方の海で戦死した兄の死より一年も早かった。

（津島誠一郎『戦没画学生「祈りの絵」第II集』講談社より）



山之井俊朗「少女（合作）」

（無言館所蔵）

（作者の経歴は35ページ）

市民の意見 140号 目次

● 広島／長崎平和宣言（抄録）

■ 特集1 安倍政権の暴走を止める

「たまさされる罪」を重ねないために

「9条のリアリティ」の再確立を

「原発再稼働阻止」に向けて

TPPと生きる権利

オスブレイが強行配備された沖縄

ネット世代と新しい社会運動

■ 特集2 若者が、子どもたちが危ない

「原発事故子ども・被災者支援法」

若者と貧困

不当な教科書採択介入（神奈川県）

戦争と孤児

● アラブ革命を見る目

● 無言館のこと

● 市民意見広告運動は正念場

● 文化

連載エッセイ③⑦「夜店が消えていく」

反戦交友録⑮ 戸井十月さん

映画の紹介「ハンナ・アーレント」

本の紹介「われわれの小田実」

写真集「ベトナム反戦闘争

まんが ふしぎの国のありか⑮

● 情報

読者のおたより 32

◆ 題字 安西賢誠

会計報告 35

編集後記 36

2

樋口陽一

前田哲男

小川正治

大野和興

山本英夫

ほしのめぐみ

満田夏花

副田一朗

京極紀子

金田茉莉

長沢栄治

正村欣生

北原博子

鈴木一誌

吉川勇一

本野義雄

砂川

天野恵一

まつただえこ